

令和元年度 下水道維持管理業務取組み発表会  
発表概要

所属 御笠川浄化センター
発表タイトル ポリ硫酸第二鉄の添加に係る検討
取組の目的 当センターでは下水汚泥の凝集、臭気対策、リンの除去などを目的としてポリ硫酸第二鉄（以下、ポリ鉄）を使用してきた。しかし今年度より稼働し始めた下水汚泥燃料化施設では脱水汚泥に添加されたポリ鉄の影響により、運転に支障が生じている。このため燃料化施設の安定的な運転を行うために、ポリ鉄の最適な添加量について検討した。
取組内容  <ol style="list-style-type: none"><li>1. 燃料化施設の異常発熱</li><li>2. 炭化物の発熱メカニズム（鉄の酸化反応）</li><li>3. ポリ鉄添加量の検討</li></ol>
取組成果・効果 当センターにおけるポリ鉄の使用状況と燃料化施設への影響の整理を行い、検討を行った。ポリ鉄の添加量について一定の整理がしたが、下水汚泥燃料化施設は今年度から稼働し始めたばかりで運転データが少ない。この後も運転データの収集を継続し、より良い運転管理を目指す。